

家族ふれあいカード

市内小学校・中学校から、
1227点の取り組みがありました。

夜ご飯のときに、家族と中学校生活のことについて話したり、皿洗いや準備などの手伝いをしました。ふだん話せないことも話せて、とっても楽しい時間でした。時間があるときには、またしたいと思います。

中学1年 女

父の日に家族で食事ができ、ステキな一日でしたネ。
料理も安心してまかせられます。

母

毎月第3日曜日は..
『家庭の日』

家族ふれあい川柳



これからは
母の背中を
みて育つ

中学1年 女

母からは
娘の背中を
押してみる

母

楽しいな
ごはんの時の
おしゃべりは

小学4年 男

テレビ消し
みんなで話す
今日の事
父

市内
小学校(3~6年)
中学校
高等学校から、
1586点の
出展がありました。

親子ふれあいアルバム



市内
保育所(園)
幼稚園
から、
253点の
出展が
ありました。

乳幼児のご家庭では、子どもの成長の記録として、親子で楽しくふれあって、アルバムを作成しました。市文化祭に出展しました。

平成28年度

羽咋市家庭教育情報紙

QRコードで家庭教育推進協議会の
web サイトにアクセスできます



羽咋市家庭教育推進協議会

検索



家庭で困ったとき、悩んでいるときは、相談して下さい。

※子どもと保護者の相談電話※

(0767) 22-6914

電話相談・面接相談:

月~金9:00~17:00

メール相談: ikusei@city.hakui.lg.jp

内容: 健康・子育て、家族関係、しつけ、
育児不安、虐待など



羽咋市ふれあい読書カード

わが子に読み聞かせをして、親として感じたこと
(乳幼児の保護者)

- ◇本の楽しさにふれて、よかった。
- ◇本の内容に興味をもっていた。
- ◇登場人物みたいになりたがっていた。
- ◇本からいろんなことを学んでほしい。



市内
保育所(園)
幼稚園
小学校(1~2年)
から、
395点の
取り組みが
ありました。

ことばのふしぎ。なぜ?どうして?

ことばには、いろいろないみがありました。この本をよむと、
べんぎょうが できます。(小学生)

読書カードを実施して

- ◆親と子の『きずな』が深まります。
- ◆子どもの心の発達が促されます。



第2号

今年度実施した【子育て意識調査】では、市内小中学生の多くの保護者がお子様の
ipod touch、携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン、
ゲーム等を使用するに当たっての「悩みや気がかり」
をもっています。

これらのネット関連とうまくつきあうために、
ぜひ【親子ホッとネット大作戦】を読んでみて下さい。
(石川県・石川県教育委員会 H28年7月発行)



ネットとうまく
つきあう方法が載って
います。
読んでみよう。

小中学校から、配付されています。
ご覧ください。

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/syougai/hottonetto/hottonetto.html>

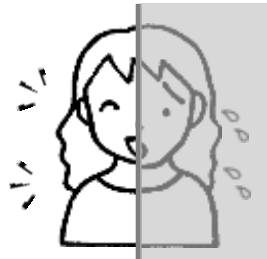


【子育て意識調査】の結果については、裏面をご覧ください。

…子どもと接している中で、楽しいと感じるとき、不安を感じるとき…

楽しいと感じるとき

- ・うれしい顔をしたり、笑ったりすると、自分も楽しくなる。
- ・子供と一緒に料理をするのが楽しい。
- ・学校や友達のことを話すのを聞くと。



不安を感じるとき

- ・親に反抗するようになってきた。
- ・友達関係の悩みを聞いたとき。
- ・ゲーム漬けになっているとき。

他にも、こんなひと言を待っています。
どんどん声かけしよう！

「ありがとう」「助かるわ」
「できたね」「挑戦してみたら」
「あなたが生まれてきてよかった」

子どもは日々、成長中！ 親が物事をプラスに受け止める。

小学校高学年や中学生の時期は二つの心を持ち、内面で迷っています。
この時期は自分に何が合うのか心の中を探っています。

〇〇をやってみたい…と親に言って不安な心確かめているのです。
子どもが「〇〇をしたい…」、「〇〇をやってみたい」と言った時、
「すごいね」「頑張ってるね」「応援してるよ」等プラスの言葉で
子どもはやる気が育ちます。

ほめるポイント

- 子どもの目線で、しっかりと目を見てほめる。
- 結果のみではなく、プロセスや努力をほめる。

話し合うポイント

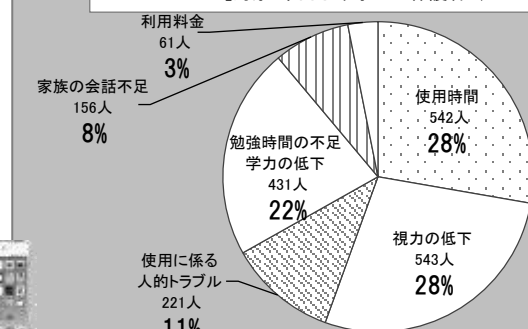
- 子どもの話を最後まで聴く。

ワンポイント アドバイス



…お子様が ipod touch、携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン、ゲーム等を使用するに当たっての考え…

これらの機器について、「悩みや気がかり」があるか。
「はい」と回答した人数。(複数回答)
【対象：市内小中学生の保護者 1,202 人】



プラス思考

- ・便利ですので、適度に使用すれば問題ない。(小学校)
- ・時間、決められたルールを守る。(小学校)
- ・親も知識をもって、子どもに対応すべき。(小学校)

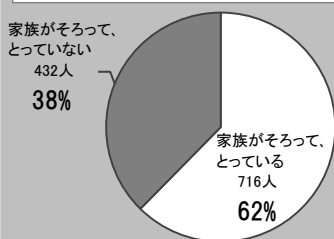
マイナス思考

- ・ゲーム依存になり、よくない。(小学校)
- ・視力の低下が心配。時間を決めて、使用する。(小学校)
- ・子どもたちの生活の中で、必要のない物。(中学校)



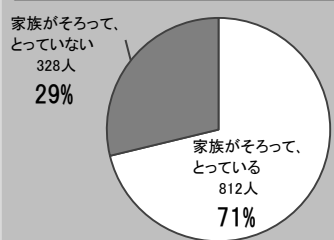
朝食の摂取状況

【対象：市内小中学生の保護者 1,148 人】



夕食の摂取状況

【対象：市内小中学生の保護者 1,140 人】



家族がそろって、朝食をとっていない主な理由

- ・父親の出勤時間が早い
ため。
- ・生活パターンがバラバ
ラのため。
- ・家族の起床時間が異な
るため。

家族がそろって、夕食をとっていない主な理由

- ・仕事の為、時間が合わ
ない。
- ・習い事等でそろわない
事がある。
- ・父の帰りが遅く、土日
のみ家族で。

皆さん、コ食を知っていますか？

孤食 (子供一人だけで食べる食事)

個食 (家族と一緒にでもそれぞれ別メニューの食事)

固食 (同じものばかりに固定した食事)

小食 (意識的に行っている少食)

粉食 (パスタや麺など粉が主原料の柔らかく早くのみ込める食事)

濃食 (スナック菓子など塩分糖分が濃い味付けの食事)

…⇒ コ食問題

この“孤食”が続くと、子供達に様々な悪影響
(例えば、協調性が身につかず、わがままな性格になり
がち。コミュニケーション能力が欠如しやすい。キレや
すい性格になってしまいがち等)を及ぼします。

ご家庭に合った孤食対策をご家族で、一度話し
合ってみましょう。



◆朝起きる時間をみんなそろえてみましょう。

◆時々でもいいので、ノー残業デーに取り組んで
みましょう。

◆土曜や日曜に、全員で食卓を囲んでみましょう。

◆簡単な手紙をそえるなどしてコミュニケーションを
はかってみましょう。

◆逆に同じテーブルに座っていても、テレビを見たり、
携帯電話等を触ってばかりいないようにしまし
ょう。